

平成30年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成30年3月14日

上場会社名 株式会社 ブラス 上場取引所 東 名  
 コード番号 2424 URL http://www.brass.ne.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 達明  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 河合 智行 TEL 052-571-3322  
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年7月期第2四半期の業績（平成29年8月1日～平成30年1月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年7月期第2四半期	4,543	7.2	270	△54.2	277	△52.8	164	△54.8
29年7月期第2四半期	4,239	25.0	589	36.0	588	38.9	363	32.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年7月期第2四半期	28.82	—
29年7月期第2四半期	65.09	—

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
 2. 当社は、平成28年11月1日付及び平成29年1月1日付けでそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年7月期第2四半期	8,546	3,260	38.2	571.10
29年7月期	8,462	3,153	37.3	552.28

(参考) 自己資本 30年7月期第2四半期 3,260百万円 29年7月期 3,153百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
30年7月期	—	0.00	—	—	—
30年7月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 平成29年7月期期末配当金の内訳 普通配当7.5円 記念配当2.5円。

3. 平成30年7月期の業績予想（平成29年8月1日～平成30年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,614	7.2	900	10.0	887	11.9	532	7.5	93.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年7月期2Q	5,709,300株	29年7月期	5,709,300株
② 期末自己株式数	30年7月期2Q	－株	29年7月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年7月期2Q	5,709,300株	29年7月期2Q	5,590,400株

(注) 当社は、平成28年11月1日付及び平成29年1月1日付けでそれぞれ普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、平成30年3月15日(木)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策の効果もあり、雇用情勢の着実な改善、個人消費の持ち直しが見られる等、力強さを欠きながらも緩やかな回復基調が続いております。また、新興国におきましても、東南アジアなどにおいて内需や輸出が好調に推移するなど、景気は総じて底堅く推移しました。

当社が属するウェディング業界におきましては、少子化の進展・結婚適齢期人口の減少を背景に、挙式・披露宴件数は緩やかな減少傾向にあります。一方で、ハウスウェディングの需要は底堅く推移し挙式・披露宴にかかる費用は年々増加傾向にあります。

このような環境の中、当社は「それぞれの新郎新婦にとって最高の結婚式を創る」との企業理念に基づき、一軒家を完全貸切し、施設全体を利用した多彩な演出を実現、自宅にお客さまを招く感覚で挙式・披露宴を上げることができ仕組みを確立しております。同業他社の多くは、複数のパーティ会場を施設内に設け、1日何組ものお客さまを扱いますが、当社はすべての会場を「1チャペル・1パーティ会場・1キッチン」とし、貸切の贅沢感を重視しております。また、結婚式場としては小型店舗のため、用地確保の難しい大都市から、人口が比較的少ない郊外においても出店を可能とし、事業展開をしております。

店舗展開につきましては、平成29年10月に「オリゾンブルー（静岡県沼津市）」をグランドオープンいたしました。当第2四半期累計期間におきましては、「オリゾンブルー（静岡県沼津市）」の出店費用48,500千円（主に備品消耗品費）計上したことに加え、既存店の将来収益拡大を目的とした改修工事60,884千円も実施いたしました。また、来期以降のオープンに向けた候補地の選定を進めるなど、さらなる事業エリア拡大に向け人員補充を行い、人件費は前年同期比124,154千円増加しております。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は4,543,668千円（前年同期比7.2%増）、営業利益270,170千円（前年同期比54.2%減）、経常利益277,354千円（前年同期比52.8%減）、四半期純利益164,557千円（前年同期比54.8%減）となりました。

なお、当社はウェディング事業の単一セグメントであり、セグメントごとの記載をしておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債および純資産の状況

## (資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は、8,546,676千円（前事業年度末比84,413千円増）となりました。これは主に、現金及び預金（前事業年度末比153,080千円減）が減少したものの、有形固定資産（前事業年度末比169,769千円増）、差入保証金（前事業年度末比40,489千円増）が増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、5,286,085千円（前事業年度末比23,050千円減）となりました。これは主に、短期借入金（前事業年度末比250,000千円増）が増加したものの、買掛金（前事業年度末比128,784千円減）、未払金（前事業年度末比81,504千円減）及び未払法人税等（前事業年度末比84,591千円減）が減少したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、3,260,590千円（前事業年度末比107,464千円増）となりました。これは、四半期純利益の計上等に伴い、利益剰余金（前事業年度末比107,464千円増）が増加したことによるものであります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前事業年度末に比べ153,081千円減少し、519,491千円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期累計期間に比べ403,687千円減少し、227,762千円となりました。これは主に、税引前四半期純利益が減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期累計期間に比べ97,266千円減少し、566,666千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少したこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果得られた資金は、前第2四半期累計期間に比べ600,893千円増加し、185,822千円となりました。これは主に、短期借入金の純増減額及び長期借入れによる収入が増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月期通期の業績予想につきましては、平成29年9月14日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	712,832	559,752
売掛金	27,651	13,247
商品	40,644	51,836
貯蔵品	45,305	52,820
前払費用	78,573	75,382
繰延税金資産	29,839	24,486
その他	1,186	763
貸倒引当金	△6,111	△6,111
流動資産合計	929,921	772,177
固定資産		
有形固定資産		
建物	8,200,027	8,765,886
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,514,611	△2,721,921
建物（純額）	5,685,416	6,043,964
構築物	764,455	825,158
減価償却累計額及び減損損失累計額	△386,690	△409,284
構築物（純額）	377,764	415,874
機械及び装置	657	657
減価償却累計額及び減損損失累計額	△611	△634
機械及び装置（純額）	46	23
車両運搬具	25,979	25,979
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,473	△19,153
車両運搬具（純額）	8,505	6,825
工具、器具及び備品	818,787	934,600
減価償却累計額及び減損損失累計額	△537,564	△602,747
工具、器具及び備品（純額）	281,222	331,852
土地	58,860	81,608
建設仮勘定	307,699	9,134
有形固定資産合計	6,719,514	6,889,283
無形固定資産		
のれん	53,530	48,086
ソフトウェア	17,815	36,388
その他	8,553	8,091
無形固定資産合計	79,899	92,566
投資その他の資産		
出資金	30	30
差入保証金	368,667	409,156
長期前払費用	52,662	49,367
繰延税金資産	309,799	332,327
その他	1,767	1,767
投資その他の資産合計	732,927	792,648
固定資産合計	7,532,340	7,774,498
資産合計	8,462,262	8,546,676

（単位：千円）

	前事業年度 (平成29年7月31日)	当第2四半期会計期間 (平成30年1月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	303,917	175,133
短期借入金	—	250,000
1年内償還予定の社債	34,200	10,000
1年内返済予定の長期借入金	896,474	887,128
未払金	326,134	244,630
未払費用	75,091	50,908
未払法人税等	226,311	141,720
未払消費税等	53,952	28,335
前受金	246,223	315,732
その他	41,363	24,309
流動負債合計	2,203,670	2,127,899
固定負債		
社債	2,500	—
長期借入金	2,559,466	2,587,840
退職給付引当金	50,459	53,906
資産除去債務	313,040	336,440
その他	180,000	180,000
固定負債合計	3,105,465	3,158,186
負債合計	5,309,136	5,286,085
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	534,556	534,556
資本剰余金		
資本準備金	514,556	514,556
その他資本剰余金		
自己株式処分差益	60,705	60,705
資本剰余金合計	575,261	575,261
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	2,043,309	2,150,773
利益剰余金合計	2,043,309	2,150,773
株主資本合計	3,153,126	3,260,590
純資産合計	3,153,126	3,260,590
負債純資産合計	8,462,262	8,546,676

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年8月1日 至平成29年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年8月1日 至平成30年1月31日)
売上高	4,239,637	4,543,668
売上原価		
商品期首たな卸高	29,390	40,644
当期商品仕入高	1,609,454	1,724,891
合計	1,638,845	1,765,536
他勘定振替高	16,666	19,629
商品期末たな卸高	34,629	51,836
商品売上原価	1,587,548	1,694,070
売上総利益	2,652,088	2,849,598
販売費及び一般管理費	2,062,497	2,579,427
営業利益	589,591	270,170
営業外収益		
受取利息	11	6
受取賃貸料	12,057	14,429
その他	2,885	3,991
営業外収益合計	14,954	18,428
営業外費用		
社債利息	551	211
支払利息	12,787	10,833
その他	3,150	198
営業外費用合計	16,489	11,244
経常利益	588,056	277,354
特別損失		
固定資産除却損	1,658	11,890
特別損失合計	1,658	11,890
税引前四半期純利益	586,397	265,463
法人税、住民税及び事業税	234,989	118,081
法人税等調整額	△12,480	△17,175
法人税等合計	222,508	100,906
四半期純利益	363,888	164,557



## （3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自 平成28年8月1日 至 平成29年1月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成29年8月1日 至 平成30年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	586,397	265,463
減価償却費	232,239	319,543
のれん償却額	—	5,443
退職給付引当金の増減額（△は減少）	2,084	3,446
貸倒引当金の増減額（△は減少）	519	—
受取利息及び受取配当金	△11	△6
支払利息及び社債利息	13,338	11,045
固定資産除却損	1,658	11,890
売上債権の増減額（△は増加）	12,271	14,403
たな卸資産の増減額（△は増加）	△16,355	△18,706
仕入債務の増減額（△は減少）	△69,545	△128,784
未払消費税等の増減額（△は減少）	82,384	△25,617
その他	△15,715	△24,979
小計	829,265	433,144
利息及び配当金の受取額	11	6
利息の支払額	△13,597	△10,911
法人税等の支払額	△184,230	△194,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	631,449	227,762
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△40,260	△40,262
定期預金の払戻による収入	40,257	40,261
有形固定資産の取得による支出	△661,976	△495,010
有形固定資産の除却による支出	—	△850
無形固定資産の取得による支出	△2,318	△30,315
差入保証金の回収による収入	2,033	1,764
差入保証金の差入による支出	△1,669	△42,254
投資活動によるキャッシュ・フロー	△663,932	△566,666
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100,000	250,000
長期借入れによる収入	217,278	500,000
長期借入金の返済による支出	△475,597	△480,972
社債の償還による支出	△29,100	△26,700
配当金の支払額	△27,651	△56,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△415,070	185,822
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△447,554	△153,081
現金及び現金同等物の期首残高	909,641	672,572
現金及び現金同等物の四半期末残高	462,086	519,491

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、ウェディング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。